

CONTENTS

- P1 第79回 国民スポーツ大会 わたSHIGA輝く国スポ2025 警衛
 P2 李大統領来日／北海道警察機動隊全体訓練
 P3 ながさきピース文化祭2025
 Member's Lounge「中国新移民は日本をどう変えるか」
 舩友雄大氏

発行所 一般社団法人
機動隊員等を励ます会
〒103-0025 東京都中央区
日本橋茅場町3-2-10 鉄砲会館
発行人 中村 真一
TEL 03(5614)0710
FAX 03(5614)0719
http://www.hagemashi.com
jimukyoku@hagemashi.com

令和7年
11月号

はげまし

For the Riot Policemen
& Members

—No.590—

第79回 国民スポーツ大会 わたSHIGA輝く国スポ2025 警衛



県民にお応えになる両陛下



お召車両

去る9月28日、「わたSHIGA輝く国スポ2025(第79回国民スポーツ大会)」の総合開会式が滋賀県彦根市の平和堂HATOSタジアムで開かれた。11日間の大会の幕開けとなる開会式には、天皇皇后両陛下が御臨席になられ、御即位後初めての滋賀訪問となった。滋賀県警察の機動隊員や県外から特別派遣された部隊が警衛に当たった。

即位後初 天皇皇后両陛下が滋賀を訪問

1981年以来、44年ぶりに滋賀県を舞台に開幕した国民スポーツ大会。従来の国民体育大会から名称が変更されて2度目の開催となった。

開会式前のウェルカムフェスタに続いて、会場ではオープニングプログラムが展開された。湖国にちなんだ演目が次々に披露され、観客席から温かい拍手が沸き起こった。滋賀を代表するアスリートとして彦根市出身の陸上の桐生祥秀選手や、東京五輪競泳女子で2冠に輝いた大橋悠依さんも登場。県内の子どもと一緒にリレーで場内を走るなどして式を盛り上げた。

1万7千人超の観客や関係者が見守る中、47都道府県の選手が

ら約2600人が北海道を先頭に北から南の順に入場行進した。地元滋賀が最後に登場すると、ひととき大きな拍手と歓声が湧いた。

開会式で天皇陛下は、「選手皆さんの、日頃の練習や努力の成果を十分に発揮されたい」とも、お互いの友情を育み、地元滋賀の皆さんとの交流を深められることを願っています。

『湖国の感動 未来へつなぐ』をスローガンに、多くの人々に支えられて開催されるこの大会が、長く心に残る、実り多いものとなることを希望し、総合開会式に寄せる言葉といたします」と、お言葉を述べられた。

滋賀県警察の機動隊員や県外



県外からの特別派遣部隊の車両



提灯奉迎状況

← 今月の賛助広告会員 →

岡部(株)
 (株)ミック
 藤田金属(株)
 住友商事(株)
 山陽特殊製鋼(株)
 芝本産業(株)
 (株)エイヴイ
 岡田運輸(株)



爆発物の検索を行う爆捜犬



歓送迎者対策

李大統領来日

警護警備を実施

去る 8 月 23 日、日韓首脳会談に伴い韓国李在明（イ・ジェミン）大統領が来日した。警視庁は特別警備本部を設置し、警備を実施した。

特別警備本部を設置し、テロに備える

8 月 23 日午前、李在明大統領が羽田空港に到着し、6 月の就任後初めて来日した。韓国大統領の来日は 2023 年以來 2 年ぶり。東京都心では、多くの警察官が警備にあたり、厳戒態勢が敷かれた。

李大統領の来日を前に、警視庁は 8 月 19 日に東京都千代田区の警視庁本部で、警備対策会議を開いた。各所属幹部ら約

180 人が集まり、警護態勢などについて確認した。

迫田裕治警視総監は訓示で「警備に際しては、さまざまな不法行為の発生を念頭に置く必要がある。その芽を確実に摘むためには、警視庁の総合力の発揮が必要不可欠。組織一丸となつて警備完遂という責務を果たさなければならない」と述べた。

警視庁は 23 日、特別警備本部を設置し、同日午後の石破茂首相との日韓首脳会談が行われる首相官邸周辺などに多数の機動隊員等を投入。不特定多数の人が集まる「ソフトターゲット」を狙ったテロに備え、主要駅や羽田空港などでのパトロールも強化した。都心の一部では交通規制や検問が実施され、車両突入テロへの対策として移動経路の周辺などに大型車両や専用の柵を設置した。



交差点の警戒警備

李大統領が宿泊する都内のホテルでは来場者への手荷物検査が行われたほか、警察官が施設内を見回り、警備犬による不審物の検



総理官邸周辺



警視庁警備犬



韓国大統領列車

索、不審な人物がいなければ厳重な警備を行った。25 日にトランプ米大統領と会談するため、24 日に李大統領は日本を離れ、ワシントンへ飛び立った。

李大統領滞在中、警察当局は万全の態勢で警護警備にあたり、無事に任務を完遂した。

北海道警察機動隊全体訓練

～北海道支部が見学

去る 9 月 11 日、北海道警察機動隊の隊舎前及び庁舎内にて、北海道警察機動隊全体訓練が行われた。同隊は、テロの未然防止や大規模災害時における人命救助など、様々な警備事象において、その中核部隊として活動に従事しており、治安の要として日々厳しい訓練に励んでいる。今回はその訓練等を披露する目的で実施された。当日は一



要救助者救出訓練



土砂災害救出訓練



術科訓練



柵の構え

般の見学はなく、北海道警察幹部が見守るなか、当会からは須藤北海道支部長と安藤世話人事務局の島津氏が見学した。

主な実施内容は、1. 機動隊の活動概要説明、2. 訓練展示（逮捕術訓練、警備訓練、各種災害訓練（ドローンによる被災状況確認、災害救助犬による要救助者捜索、広域緊急援助隊・特別救助班による救出救助訓練）、3. 装備品展示、4. 車両展示が行われた。

～ 今月の賛助広告会員 ～

日本製鉄㈱
日鉄鋼板㈱
日鉄ドラム㈱
日鉄物産㈱
大阪製鐵㈱

日鉄エンジニアリング㈱

ながさきピース文化祭2025

第40回国民文化祭、第25回全国障害者芸術・文化祭



佐世保市体育文化館における事業御覧(御交流)状況

去る9月14日、ながさきピース文化祭2025(9月14日、11月30日開催)の開会式が行われ、天皇皇后両陛下が臨席された。

ながさきピース文化祭は、第40回国民文化祭(国文祭)と第25回全国障害者芸術・文化祭(芸文祭)の統一名称。国文祭は天皇陛下が出席される「四大行幸啓」の一つで、長崎県初開催。芸文祭は2007年以来2回目となる。今年が被爆・終戦80年などの節目に当たることから、平和のメッセージと長崎の特色ある歴史文化を広く発信し、後世に継承していくことを目指している。

佐世保市のアルカス

SASEBOで行われた開会式には約1400人が来場し、11月30日までの78日間の祭典の始まりを盛り上げた。会期中、長崎県内各地でコンサートや演劇、芸術に関連したイベントが行われるが、開会式では、天皇皇后両陛下もご観覧される中、高校生らが海外との交流で育まれた長崎の歴史や文化、平和への思いを発信した。

式では、阿部俊子文部科学相、福岡資麿厚生労働相、大石賢吾知事があいさつ。天皇陛下は被爆80年の節目に長崎で開催されることに「大変意義深い」とし、「文化芸術のさらなる発展と平和への願いの高まりにつながる大きな成果を収めることを希望

します」とお言葉を述べられた。両陛下の御訪問に伴い、長崎県警察の機動隊員や県外から派遣された部隊は、行幸啓先の沿道での交通規制や歓送迎者への対応を実施。また、式典会場周辺では不審物の検案などを徹底し、無事に警備を完了した。



提灯奉迎の雑路警備状況



佐世保市内(ホテルオークラ周辺沿道)における沿道警備状況



国民文化祭等開会式への御臨場

Member's Lounge

機動隊員等を励ます会 9月の朝食講演会

より良い暮らしを求めて中国を脱出し、日本へ移住する中国人富裕層。コロナ禍以降目立つようになった中国新移民の動きについて、今年1月に『潤日(ルンリー)』を上梓したジャーナリストの舩友氏にご講演いただいた。



〈9月18日のゲスト〉

ますともたけひろ

舩友雄大氏

ジャーナリスト

早稲田大学日本グローバル経済研究所招聘研究員

プロフィール

1985年 福岡県生まれ

経歴

○カリフォルニア大学国際関係修士。2010年中国の経済メディアに入社後、国際報道を担当

○14年～16年までシンガポール国立大で研究員。22

年よりNHKラジオ「マイあさ!」で東南アジア・中国に

ついて解説を担当

○23年より中国新移民について積極的に取材を続け、

「週刊東洋経済」、「Japan Times」などに寄稿したほか、

NHK「視点・論点」、YouTubeチャンネル「PIVOT」な

どに出演。韓国紙「中央日報」、英紙「Observer」など多

くの海外メディアで引用される。

著書

『潤日(ルンリー) 日本へ大脱出する中国人富裕層を追

う』(東洋経済新報社)

中国新移民は日本をどう変えるか

1. 潤日とは
私は2023年から中国新移民について取材を始めた。今年1月に『潤日』という本を出し、国内外で話題になってきている。日本に住む中国人の数は去年の年末時点で87万人に達し、来年には100万人に達する見込みです。潤日の人たちは2018年以降に日本にやってきた中国移民を指し、だいたい10万人ほどになります。10万人と聞くと少ないと思われるかもしれませんが、これまでとインパクトが桁違いであると指摘しておきたいと思っています。

「潤」は中国語で「ルン」と発音しますが、英語は「Run(逃げる)」と同じことから、中国では脱出する、逃げ出す、海外でより良い生活をするといった、ある種の隠語のようになっています。コロナ禍の2022年に上海全体がロックダウンしたわけですが、その時に中国の都市部はかなり失望感が広がりました。その頃にこの「潤」という言葉が流行り始めました。

2. 移住先に日本が選ばれる理由
コロナ禍以降、1万人前後の中国人富裕層が毎年海外へ流出しています。ここでいう富裕層とは、100万米ドル以上の投資家の資産を持っている人のことを指します。なぜこのような人たちが日本にやってきているのかという背景の一つは資産の保全です。中国は不確実性が高いため、自分たちが築き上げた資産を海外で保全していきたいのです。二つ目の大きな背景が良好な教育です。中国は受験戦争が年々激化し、愛国主義教育も広がっているため、日本の教育環境がとても魅力的に映っているということがあります。そして三つ目は、言論、表現の自由です。習近平政権のもとで締め付けがかなり厳しくなっているため、このようなニーズがあるのです。

日本を選ぶ理由として大きいのは、やはりコスパがいいこと。先進国の中では比較的生活コストが低い。二つ目が地理的な近さです。また、ビザの取りやすさ、同じ漢字圏でそれほど言語の問題がないことでもあります。社会福祉や医療制度も整っているのかなりプラスになっています。そして、意外なところですが、今日日本に来ているのは80年代90年代生まれの人も多いためです。この世代はアニメや日本の家電に囲まれて育ち、

日本文化に親しんできた世代でもあります。2010年代に観光ビザが緩和され日本に来たことがあり、どういふところかわかっている人たちがいることになります。

私の仮説として、これまでの旧移民とどう違うかというと、新移民の人たちはグローバルな視点を持ち、比較検討の上で日本を移住先に選んでいます。また、中国政府とも若干の距離感がある。脱出するくらいなので、やはり中国の現状にはあまり満足していない人が多いようです。

3. 不動産への影響

先日三菱UFJ信託銀行のアンケート調査によれば、港区、千代田区、渋谷区といったところの新築マンション購入者のうち、3

(P4へつづく)

→ 今月の賛助広告会員 →

五十鈴(株)
日鉄物流(株)
明鋼材(株)
平和農産工業(株)
日鉄建材(株)
(株)三栄商會
富士興業(株)

(p3からつづ)

割くには外国人になつていて、この中には多くの中国人が含まれていると思います。東京では湾岸エリアや「3A(麻布、赤坂、青山)」の低層マンションが人気となっています。しかし狭すぎるという方も多い。今、中国系の企業はディベロップターなどが各地のリゾート地を含め、別荘や大きな不動産プロジェクトを始動させている現状があります。私が「爆建」と名付けた現象です。不動産購入にあたってはキャッシュ一括で買っているとテレビでも報道されていますが、どのようにそのキャッシュを手に入れているのか。その疑問から取材を続けたところ、一つポイントがわかりました。地下銀行と聞くと大丈夫なのかと思われるかもしれませんが、中国人の感覚からすると、非正規の送金ネットワークは昔からありますし、身近なものと考えているようです。ただ、地下銀行はマネーロンダリングとも隣り合わせで、これから日本にとっても大きな問題になってくる気がします。

4. 企業への影響

エンジニアの人たちが次々来日しています。今、日本で働く中国人労働者のうち、実は10%以上がIT関連のセクターで働いている人たちがいます。経産省の統計では、2030年に日本でエンジニアが79万人不足するという推計もありますので、それを穴埋めしていると考え、この増え方も不思議ではないと思います。

特にここ数年来日しているエンジニアの方はだいたいパターンとして三つくらいあるとみています。一つは、例えば都内の外資系テック企業の日本支社で働くようなエリートです。日本語ができると日本のテック企業で働くパターンもあります。中国語しかできない人

たちは中国系の人材派遣会社に入るパターンが多いようです。エンジニアの人たちが日本に来たがっているのは、中国だとなかなか継続して働くのが難しい現状にならないとも言われますし、労働環境も悪く、過労死も起きています。日本で働くのと割とゆとりを持って生活できると皆さんおっしゃっています。中国もアメリカと肩を並べるAI大国ですが、中国国内のAIブレイカーによると、日本はAIの空白地帯なので、日本に出て来たほうが利益を確保しやすいようです。

CFC(コピー・フロム・チャイナ)という考え方があります。技術や人材、資金も全て中国から持ってきて、そのまま経営していくことです。ただし日本は中国系を警戒するところもあるので、割と多いのがシンガポールで最初に会社を設立して日本に進出してくるパターンです。シンガポールのウォッシュと言いますが、アメリカで起業するパターンもあります。

中国新移民の人たちに取材していると、日本経済をすごく楽観視しているのを感じます。また、酒蔵や教育関係など企業を買収する動きも少しずつ出てきています。都内の大学を買収しようとしたという話も聞いています。また、医療、美容整形、ゲーム関連といった分野にも入ってきています。とはいえ、日本の産業界は保守的なところもあると思いますし、経済安保という考え方も出ていますので、なかなかコアな産業界には思うように入っていない現状だと思います。

5. 「潤マネー」ビジネス

日本では「潤マネー」といって、中国人富裕層を新たな需要と捉える向きがかなり強まっています。例えばディベロップターは外国人のニーズに合わせて、新築のマンションのデザインが変わってきていた

りもするようです。中国人だとバスルームが二つ欲しいという要望が結構あります。最近では柔軟に対応するようになり、バスルームを二つつけるところも出てきていますと聞いています。

それ以外にもいろんな企業で潤マネーを追う動きが出ています。ある大手金融機関も去年から在日中国人を想定したビジネスを始動したようです。私もお声がけいただき意見交換をさせていただきました。大手商社、通信関係の企業、百貨店などからも、意見交換や勉強会をするというところで私にアプローチいただきました。東京だと中国語ができるだけで、かなりビジネスチャンスがあると個人的には感じています。

教育分野でも中国新移民の影響が出ています。例えば高田馬場のあたりは中国系の進学塾が乱立しています。日本の大手進学塾も中国にルーツを持つ生徒がどんどん増え、割合も高まっています。また、文京区には「3S1K」と言われる4大有名公立小があり、ここが大人気となり、多くの中国人家庭が学区にわざわざ引っ越しています。日本は中国にとつての第二学区のようになっているのを感じます。

少子化の問題に直面している一方で学校の数自体はそこまで減っておらず、定員の確保に必死なところがあるので、ある意味で席が空いていると言えます。だから簡単に入っていける感覚があるようです。

6. 今後の行方

教育だけでなく文化的な活動も活発で、中国から知識人が集結している動きがあります。都内に中国系の書店が増えたり、例えば、2023年に中国独立系書店の単向街書店が銀座にオープンしました。世界各都市を見渡しても中国語書籍を扱う書店が急増している都市は他にありません。こうした場所は会員制もあり、頻りにイベントを開いています。中国新移民の精神的な

拠り所になっている面もあります。

また、音楽・映画関係者の来日も相次いでおり、クリエイティブ産業も盛り上がりつつあります。100年前のフランス・モンパルナスが世界各地から芸術家を引き寄せていましたが、それに近い状況が東京で再現されているとみています。

東京が多くの中国人にとつて知的なハブになってきています。北京や香港では言論の自由が制限されているけれど、東京だと自由に活動ができる。日本政府がこの流れを応援してきた側面もあります。外務省は2010年ごろから中国の知識人を積極的に招聘してきました。

今、この状況は清朝末期の状況と似ているという指摘もあります。当時は孫文や梁啓超など有名な中国人知識人が日本に滞在し、最終的に中国で革命が起きました。現時点でその可能性はないと思いますが、最近第二の孫文が出てくるのかという話も出ています。今後、富裕層と知識人が協力し始めると、政治的な勢力になる可能性はゼロではないと思っています。ただ時間がかかるでしょう。もしそういうことが起これば、中国政府からの干渉や監視も強まると想像します。

日本で政治を志す中国出身者も出てきています。人口が減っている地方では、選挙をしても自動的に当選します。こういう動向も注目だと思っています。

今後の日本は、中国新移民の受け入れ度は低くなってくると思います。今年の都議選、参院選では外国人政策が急浮上しました。世論調査でも出入国管理、不動産所得などの規制を強めるべきという意見が多数になっています。経営管理ビザも要件が変わり、会社を立ち上げる際、日本での資本金が500万円以上というのが要件の一つとしてありましたが、それが3000万円になると決まっています。また、高層マンションの短期での転売を規制する動きもあります。

日本側の規制の強化も進みそうですので、全体としては減速していくというのがメインシナリオだと思っています。自民党総裁選の行方、連立の行方も今後の移民の動きを左右していくでしょう。

講演後質疑応答

Q 新移民は一過性のバブルが生じているのでしょうか。

A 例えば中国内で資産の保全や良好な教育、言論の自由が担保されるなら、中国に帰りたい気持ちがあるのではないでしょうか。

Q 今の中国は習近平体制が終わる心配がないのに加え、たとえ習近平体制が終わったとしても、混乱が続くと予想されるので、ある知識人の方は帰るつもりは全くないと話していました。私の取材の範囲だと、こちらに根を張りたい人が多いかと思っています。

Q 日本で政治家を志す移民の方は、どういった動機で志しているのでしょうか。

A いろいろなパターンがあるかと思いますが。地方で政治家になる人は地元を盛り上げたいという動機の方が多いです。今回も参院選や都議選など中国出身の方が何人も出馬していましたが、政治的な対中国の立場もまちまちで、ワンパターンではないと感じます。

Q 今の東京を1900年ごろの清朝末期になぞらえる見方について、実際に民権運動の高まりのような雰囲気はあるのでしょうか。また、第二の孫文という言葉もありますが、そのようなリーダーが現れるような雰囲気はあるのでしょうか。

A 今は100年前と比べ物にならないくらい検閲体制が厳しくなっていると思うので、現実的にすぐには起こらないと考えます。当時と違い、日本でそういう勢力を積極的に応援しようというのがあります。一方私の知っている限り、

世界的に知られる活動家の方が日本への移住を考えているということなので、そういう人が集まり始めると、中国政府もますます監視の目を強くなるだろうと思います。

Q 新移民によって日本の治安が悪化するでしょうか。

A 単純化して言えば、いい人もいれば悪い人もいるというのは、どの国でもそうだと思います。治安が悪化しているかどうかは感覚で答えるにくいところはありますが、犯罪活動の延長のようなことが一部で起きていることは間違いないと思います。

Q 新移民が中国政府に対しては反政府的という話がありましたが、逆に親中国的な動きをする層もいる可能性はあるのでしょうか。

A 当局の指示なり意向に沿って動く人は一定数いると思いますが、私が取材している人に偏りがあるかもしれません。一つ付け加えるなら、中国に住む日本人の数は減ってきているけれど、逆に日本は新移民が100万人規模になってきている。その非対称性は重要な懸念をはらんでいるとも思います。

編集後記

今年は大阪・関西万博をはじめ東京世界陸上などの大規模警備事業の多い年ですが、警察関係の皆さんは警備任務を完了させています。年々長くなくなっていく夏の警備はますます厳しくなっています。やっと秋めいた季節になってきました。

(励ます全事務局)

-- 今月の賛助広告会員 --

合同製鐵(株)
太陽サカコー(株)
新ケミカル商事(株)
山文(株)
国見山(株)
草野産業(株)